

平成25年度

単位施策評価表

所属 30100000

都市整備部 都市計画課

施策	2102 景観形成の充実						
区分	妥当性	妥当	コスト削減の余地	無	受益者負担	適正	
	上位貢献度	有効	類似事業の有無	無	成果向上の余地	有	
対象	市民、事業者						
単位施策目的	歴史や伝統を活かした個性的な景観・街並みの形成等を図る。						
成果指標	①：修景工事を実施した建築物の総数（指標単位：戸） ②：景観に関する大規模行為の年間届出件数						
目標達成状況			平成25年度	平成26年度	平成27年度	平成28年度	平成29年度
	成果指標1 [ ]	予定	105.00	106.00	107.00	108.00	109.00
		実績	107.00				
	成果指標2 [ 件 ]	予定	15.00	15.00	15.00	15.00	15.00
		実績	32.00				
		単位コスト	1,601.16				
	成果指標3 [ ]	予定					
		実績					
		単位コスト					
	成果指標4 [ ]	予定					
実績							
単位コスト							
トータルコスト (千円)	予定	51,691			0	0	
	実績	51,237			0	0	
内部評価	貢献度	上位施策の目標指標である「美しい景観形成に対する市民満足度」を向上させるためには、景観形成の充実は重要であり、本単位施策の目標達成による貢献度は高い。					
	達成状況	成果指標については実績が予定を大きく上回っている。当単位施策内の事務事業については1事業を除き達成度が高い。					
	課題	事務事業「まちづくり資金融資預託金」は利用がないため、利用向上のため金融機関等の同種のメニューを調査研究し、改善・周知方法を検討しなければならない。					
	取組方針	達成度が高い事業については引き続き事業を推進する。達成度が低い事務事業については達成度向上のため調査研究し、改善や周知方法を検討して事業の推進を図る。					
外部評価	地域ごとに景観意識の温度差があるように感じる。早期に景観条例・計画を策定し、基準と方向性を全市民に示すべきである。 また市民のみならず、観光客等市外からの来訪者の意見も景観形成上重要な観点であることから、景観条例・計画を策定後は、成果指標の見直しが必要である。 観光地や公共施設への案内看板について、栃木市は3回の合併を経て現在に至っていることから、市民が市内であっても他の地域に行くと公共施設等の位置が分からないことがあり、また観光客においても観光地への案内看板が不十分であると思われる。そこで案内看板等の整備事業を新規に取り入れていく必要がある。						
単位施策達成のための事務事業	事業コード	名 称				トータルコスト(千円)	達成度
	432201	街なみ環境修景事業費				5,720	100
	432301	都市景観形成事業費				11,731	100
	432501	屋外広告物指導事業費				2,815	100
	432701	伝建まちづくり事業				20,145	100
	434401	栃木駅周辺地区景観形成基金積立金				76	100
	432101	まちづくり資金融資預託金				10,750	0



事業

様式1

栃木市事務事業評価表

平成25年度

会計	一般	款項目080406	予算事業コード432201	事業区分02	政策的事業	新規/その他2	その他	基本施策	単位施策
事業名	街なみ環境修景事業費								
担当部署	都市整備部 都市計画課 計画景観担当 景観チーム								
担当チーム名	都市整備部 都市計画課 計画景観担当 景観チーム								
事業の性質	2	自治事務	根拠法令等	栃木市歴史的町並み景観形成要綱					
事業の概要	<p>(事業完了(事業期間のない事業は平成30年度)までに、種(物)を、どういう方法で、どうしたいのか。対象、手段の記入)</p> <p>歴史と伝統を活かした魅力あるまちづくりを推進するため、大通りや巴波川周辺の約4.8haを歴史的町並み景観形成地区に指定し、地区内の歴史的建造物、非歴史的建造物、工作物の修景保全を支援し、歴史的な町並みの一層の整備と住環境の向上を図る。</p> <p>【主要事業】</p>								

単位:千円、人	平成24年度決算額	平成25年度決算見込
国庫支出金	0	0
県支出金	0	0
地方債	0	0
その他補助	0	0
一般財源	4,630	2,720
事業費 a	4,630	2,720
人件費 b	3,000	3,000
減価償却費 c		
総事業費 a+b+c	7,630	5,720
結果指標1	2.00	1.00
結果指標2	106.00	107.00

事業の内容	平成24年度	平成25年度
歴史的建造物の修景	2件	1件
・黒川邸石蔵(屋根・外壁・板金工事)		
・斉藤邸(木(外壁)・屋根・板金工事)		
非歴史的建造物の修景	0件	0件

達成目標	<p>①:修景工事を実施した建築物の総数...5年間で109戸(現状値104戸) (指標単位:戸)</p> <p>②:景観に関する大規模行為の年間届出件数...5年間で15件(現状値7件)</p>
成果指標	<p>歴史的建造物の修景</p> <p>・山口邸(木・外壁・板金工事) 1件</p> <p>非歴史的建造物の修景 0件</p>

算出方法	単位
指標名	件
修景補助件数	修景補助をした建築物等の件数の合計 H25目標数値1件
修景補助件数(累計)	修景補助をした建築物等の累計 H25目標数値107件

(改善内容とその効果を具体的に記入)

- 歴史的町並み景観形成地区(4.8ha)の一部が、重伝建地区に選定されたため、伝建制度との整合を図る。
- 景観計画策定に伴う景観形成重点地区の指定や修景補助制度の見直し検討を行う。





